

## 東京大学とソフトバンク、世界最高レベルの人と知が集まる

### 『Beyond AI 研究所』に向けた協定を締結

～日本の AI を、次のステージへ～

2019 年 12 月 6 日

国立大学法人東京大学

ソフトバンク株式会社

国立大学法人東京大学（総長：五神 真、以下「東京大学」）とソフトバンク株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮内 謙、以下「ソフトバンク」）は、世界最高レベルの人と知が集まる研究所『Beyond AI 研究所』の開設、および研究成果の事業化に向けた取り組みに関する協定を締結しましたのでお知らせします。

『Beyond AI 研究所』は、東京大学と海外の有力大学の世界最高レベルの研究者を擁した最先端の AI（人工知能）研究機関になることを目的として設立します。この研究所では、AI の基盤技術研究やその他の学術領域との融合を目指す基礎研究領域と、さまざまな社会課題・産業課題への AI の活用を目的とする応用研究領域の二つの領域で研究を行います。研究所内では各研究領域の連携を密に行うとともに、研究成果の事業化にあたっては、大学と企業とのジョイントベンチャーの迅速な設立を可能にするために経済産業省が新たに策定した CIP 制度（Collaborative Innovation Partnership 制度）※を積極的に活用していきます。

東京大学とソフトバンクは、『Beyond AI 研究所』を通して、日本の AI 研究および AI ビジネスの発展に貢献し、日本の AI 革命をけん引していきます。

#### ■具体的な取り組み

##### (1) 東京大学と海外有力大学の世界最高レベルの研究者による最先端 AI の研究

『Beyond AI 研究所』では、量子物理による AI 自体の抜本的進化や AI と生体機能の融合など、AI に関わる新たな基礎研究の領域を切り開くため、東京大学の強みである物理学や医学などの分野の学内研究者を配置して AI との融合を実現するとともに、海外の有力大学からも研究者を招聘して、世界最高レベルのチームによる最先端の AI の基礎研究を実施します。

##### (2) 新たなジョイントベンチャー制度を活用して研究成果を事業化

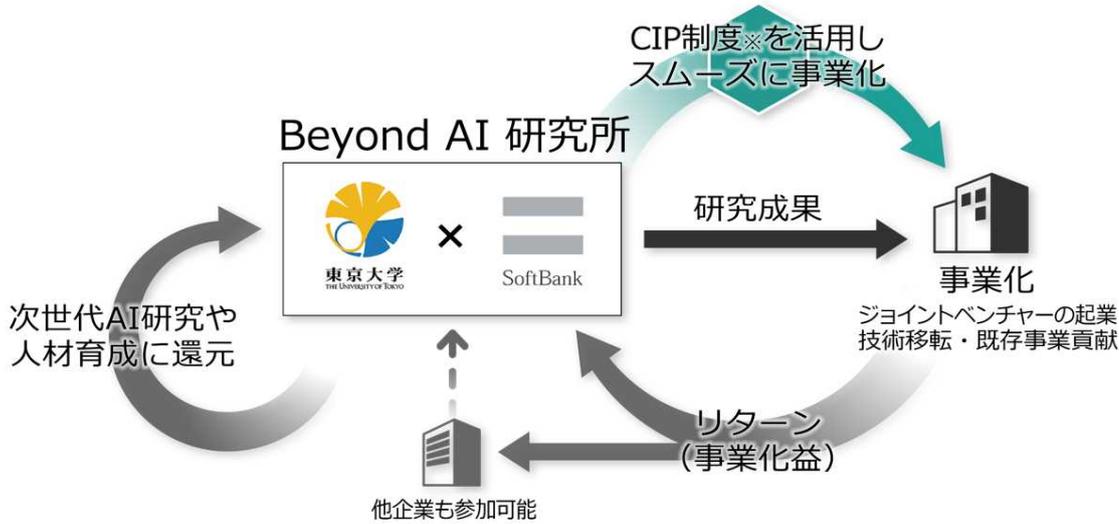
応用研究領域では、基礎研究領域で生まれた有力な研究成果を含めて、「健康医療」「公共・社会インフラ」「製造領域」などに AI を活用し、大学と企業とのジョイントベンチャーの迅速な設立を可能にする CIP 制度を活用して事業化します。CIP 制度によって、ジョイントベンチャーでの事業化を当初から見据えた活動を研究段階から迅速に具体化し、事業によって得たリターン（利益）を、さらなる研究活動に充てたり次世代の AI 人材を育成するための教育活動に活用したりすることで、エコシステムを構築します（ベンチャーの創出に関しては、株式会社ディープコア、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社および東京大学関連ベンチャーキャピタルとも連携）

##### (3) 研究所は「東京大学本郷キャンパス」と「ソフトバンクの竹芝新オフィス」の 2 拠点に設置

基礎研究領域の研究所を東京大学本郷キャンパスに、応用研究領域の研究所をソフトバンクが 2020 年度に本社を移転する竹芝の新オフィスに設置します。この 2 拠点は、大学共同利用機関法人 情報・システム研

究機構 国立情報学研究所（NII）が全国規模で構築および運用する情報通信ネットワーク「SINET（サイネット）」で接続して、研究から事業化までを一気通貫で行える体制を構築します。

### ■ 『Beyond AI 研究所』における研究と事業化のエコシステム



### ■ 『Beyond AI 研究所』の研究テーマ（検討案）

基礎研究領域		応用研究領域
<b>Super-AI</b>	<b>Hybrid-AI</b>	<b>JV-Platform</b>
革新的に高精度・リアルタイム化するAI基盤技術と、社会的課題解決をも含むAI周辺技術からなる基礎研究領域	AIと最先端の他分野研究との融合を図る未踏の領域。量子物理や数理、工学、脳科学等と融合によって新価値創造を目指す	実務性と機動性を備えたベンチャーの発射台となるプラットフォーム。CIP制度を活用することで研究成果を短期間に事業化
計算・通信・データ容量 飛躍的な向上                      機械学習の 革新的な進化                      高信頼化・公共性 社会的課題解決	量子物理や数理など 先端研究との融合                      ロボティクスなど 先端工学との融合                      人工生命や インテリジェンスの理解	健康医療                      公共・社会 インフラ                      製造領域
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>高信頼化AI</b> ノイズ耐性・explainable AI・公平性・情報漏洩・信頼性等を検討中</li> <li>● <b>高性能AI</b> 学習高速化、大規模データ効率的取得、機械学習アルゴリズム</li> <li>● <b>次世代AI</b> 従来型AI(演繹的AI)と機械学習(帰納的AI)融合</li> <li>● <b>Big Data解析</b> 莫大なデータの中から意義のある情報を見つける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>AI for 数学&amp;自然科学</b> 数学の定理証明、物理法則の発見、新しい物質の合成と予測</li> <li>● <b>AI開発環境</b> 言語・ライブラリ (Python &amp; TensorFlowなどに代わるもの)</li> <li>● <b>ロボット×AI</b> 人間並みの脳を組み込んだヒューマノイドロボット</li> <li>● <b>医療支援システム</b> AIを応用した最先端医療システムの研究開発</li> <li>● <b>AIによる人間の発想支援システム</b> 卓越した研究やその研究計画をAIが作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>データ駆動型医療</b></li> <li>● <b>マイクロバイーム、ゲノム解析</b></li> <li>● <b>MaaS</b> (移動の最適化)</li> <li>● <b>都市開発</b> (人口流動データ活用)</li> </ul>

※ 経済産業省が従来の制度を刷新し、新たに普及させる研究開発ビークルで、企業と大学がパートナーとなってスピード感をもって立ち上げ、成果が出ればジョイントベンチャーとして株式会社化して事業化を行うことができる制度。 未来投資会議にて、経済産業省が発表済み。

- 今後の検討や受託研究の進捗・成果により、内容が変わる場合があります。
- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。